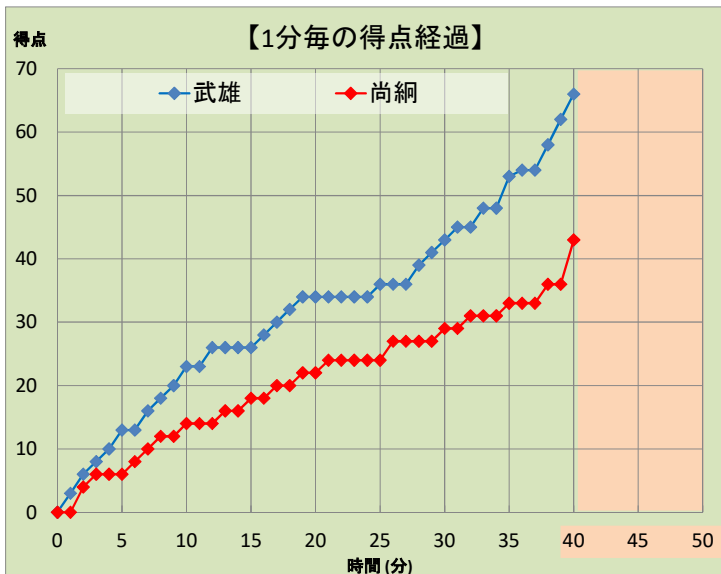


第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 13:30	
コート	Gコート	第4試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	境 秀教	
副審	前橋 裕樹	

TEAM A			TEAM B																	
武雄	66	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	23	1st	14	11	2nd	8	9	3rd	7	23	4th	14	OT			43	尚綱	
23	1st	14																		
11	2nd	8																		
9	3rd	7																		
23	4th	14																		
OT																				
佐賀3位				熊本4位																
○				●																

【BOXスコア】

TEAM A		武雄高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	草場 里菜	◎ 24	5	4	1	3	
5	森 陽海	○ 3		1	1	1	
6	谷中 佑理子	0					
7	永末 美保	0					
8	井上 虹葉	0					
9	野田 樹未	10		4	2	2	
10	安藤 優李	0					
11	西山 亜佐	○ 13	2	3	1	1	
12	塚本 愛	0				1	
13	中尾 華子	0					
14	宮崎 梨音	0					
15	秀島 萌夏	0					
16	山口 美弥	○ 2		1		2	
17	江島 菜々子	0					
18	小田 英恵	○ 14		7		3	
コーチ	武藤 広樹	/	/	/	/	/	
合計		66	7	20	5	13	

TEAM B		尚綱高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	古閑 礼菜	◎ 3	1			3	
5	澤田 知里	0					
6	百田 笑菜	○ 14		4	6	2	
7	松藤 ゆきの	○ 5		2	1	1	
8	高橋 麗	0					
9	川元 莉穂	0					
10	丸山 喜久乃	0				2	
11	成瀬 杏那	0					
12	武 ほの花	○ 9		4	1	3	
13	前田 萌々香	0					
14	黒瀬 颯稀	6		3		1	
15	西生 灯里	0				1	
16	多良木 美帆	0					
17	吉田 美由	○ 6		1	4	5	
18	佐野 友紀	0					
コーチ	豊田 恭英子	/	/	/	/	/	
合計		43	1	14	12	18	

【戦評】

全九州大会Bパート1回戦、佐賀県3位武雄対熊本県4位尚綱との対戦、武雄のスターティングメンバーは、#4、#5、#11、#16、#18、尚綱のスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#12、#17で試合開始。第1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。武雄が#4の3ポイントで先制するが、尚綱も#4の3ポイントで反撃。先にペースを握ったのは武雄。高い位置からのディフェンスプレッシャーと速攻で得点を重ねる。尚綱はタイムアウトを取り、速いパス回しとスクリーンを絡めたムービングプレーからペースを掴もうとするが、武雄#4の3ポイントがブザービーターで決まり、23-14で武雄がリードして1Q終了。第2Q、尚綱がディフェンスをゾーンに変えると武雄の得点が止まる。この間尚綱は#12、#14のインサイドで加点して点差を詰めるが、大事なところでシュートを決めきれない。逆に武雄は#9、#18がオフェンスリバウンドから得点を決め、34-22で武雄がリードして前半終了。第3Q、武雄は、#4、#5、#9、#11、#18、尚綱は#4、#6、#7、#12、#17でスタート。序盤は両チームなかなかシュートが決まらなかったが、尚綱が#6のバスケットカウントとフリースローで点差を9点とし、武雄がタイムアウト。落ち着きを取り戻した武雄は、#11の3ポイント、#18のゴール下、#5のミドルシュートが立て続けに決まり、43-29で武雄がリードして3Q終了。第4Q、武雄ボールでスタート。武雄は#9で得点するが、尚綱も#14で得点。ここで武雄#4がこの日4本目の3ポイントを決め、点差を17点とする。尚綱も必死のディフェンスで抵抗するが、武雄#9、#18が粘り強くゴール下を沈め、66-43で武雄が勝利した。尚綱は攻守にわたってチーム一丸となって奮闘したが、シュートの精度を欠いた。

【戦評記者】 西川 崇
福岡県バスケットボール協会